ボーイスカウト津10団　ベンチャースカウト隊

個人プロジェクト計画書

1.プロジェクト計画名　愛知川～雨乞岳　探検ハイク

2.プロジェクトメンバー

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 主な役割分担 |
| 高橋　　真 |  |
| 平野　信長 |  |

3.活動期間

実施活動日程　２６年８月２日（土曜）～３日(日)

報告書作成　２６年9月

|  |
| --- |
| 4.隊指導者コメント・承認  体力的にもこれまでに経験していないレベルのハイクに挑戦することになります。体調を整え、事故や怪我の無い様に留意して楽しく活動しよう。  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成２６年７月２７日  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大森　芳幸　印 |
| 5.団委員長承認  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |

6.プロジェクト実施の目的

・今後より高度な移動キャンプ等の活動に取り組むための基本を取得する。

・２３ＷＪに向けて「ベンチャー章」を取得する。（平野信長）

7.プロジェクト内容

　　トレッキングハイク（道中で１泊する）

8.プロジェクト挑戦分野(8つのプロジェクトバッジ関連)対象技能章など

　高度な野外活動

9.必要と考えられる知識・技能

|  |  |
| --- | --- |
| 必要と考えられる知識・技能 | 習得への手立て |
| 読図・コンパス | 2級考査課目の再確認 |
| 救急法 | 救急法講習テキストを再確認 |

10.チームで必要な備品等

　2人用テント(１つ)、地図(1/25000)、携帯コンロ(ボンベ付)、救急用品(バンドエイド、胃腸薬、頭痛薬、やけど・虫刺され消毒薬、解熱剤、風邪薬、テーピングテープ、三角巾、体温計)食料(主にレトルト・フリーズドライ)・

非常食（あめ・パン・カステラ・ケーキ類）

11.個人装備

リュック(50Ｌ以上の登山リュックまたはキスリング)、登山靴、１日目の昼食、寝袋、ウレタンマット、雨具、長袖の服、手袋(ナイロン製等)、シャツの着替え２つ程度(綿は不可、)タオル２枚程度、帽子、チーフ、トイレットペーパー、ゴミ袋(スーパーの袋等)、新聞紙、シルバーコンパス、手帳、筆記用具、時計、ライト、ナイフ、保険証コピー、計画書、飲料水２Ⅼ、スプーンまたはフォーク、ロープ、デジカメ、携帯電話、

・手袋は軍手は不可(防水性のあるもの)

・ユニホームは不要。

・衣類は極力ポリエステル製のものとする。綿は避ける。

　(綿は汗を吸い体温を下げる。)

・飲料水は500ⅿℓペットボトルを４本に分けて入れる。(お湯を沸かすのに使う。食事はフリーズドライまたはレトルトが中心)

・携帯電話は緊急連絡用に極力持参する。

・小遣い金銭は各自持参してもよい。

12.具体的な行動計画

**前日に準備**（8月1日　16時よりサンパレス管理人室にて）

・持ち物：個人装備を詰めたリュック、計画書、

・内容：隊装備の点検、装備等の運搬分担と荷造り、

計画内容の確認と打ち合わせ。

食料の買い出しは事前に各自自分の分を購入しておく。

**当日**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時刻 | | ８月２日(土曜) | |
| ６ | ００ | 津出発（車）　（久居ICから高速にのる） | |
| ７ | ００ | 朝明渓谷　伊勢谷小屋　到着　（出発準備） | |
| ７ | １５ | 伊勢谷小屋　出発 | |
| ８ | ４５ | 根の平峠 | |
| １０ | ００ | コクイ谷出合い　休憩（宿泊予定地） | |
| １０ | ２０ | コクイ谷出合い　出発 | |
| １２ | ００ | 杉峠　到着　（昼食） | |
| １２ | ３０ | 杉峠　　（出発） | |
| １３ | ３０ | 雨乞岳山頂 |  |
| １４ | ００ | 杉峠へ戻る |  |
| １５：３０ | | コクイ谷出合いまで戻る | テント設営　夕食 |
| ８月３日（日） | | | |
| ６ | ００ | 朝食・徹営を完了し　出発 | コクイ谷出合い |
| ７ | ００ | 根の平峠 |  |
| ９ | ００ | 国見岳　山頂到着 |  |
| ９ | １５ | 国見岳　出発 |  |
| １０ | ００ | 御在所岳山頂　着（給水） | 大森へ電話連絡を入れる |
| １０ | ３０ | 御在所岳山頂　出発 |  |
| １１ | ００ | 国見峠 |  |
|  |  | 御在所岳裏登山道を下山 |  |
| １２ | ３０ | 藤内小屋 | 昼食 |
| １３ | ００ | 藤内小屋　（出発） |  |
| １４ | ００ | 蒼滝トンネル　登山口 |  |
| １４ | ３０ | 湯の山温泉　バス停 |  |
| １４ | ４４ | バス乗車 | 270円 |
| １４ | ５２ | 近鉄湯の山温泉駅着 | 大森へ電話連絡入れる |
| １５ | ００ | 四日市行き　乗車 | 720円 |
| １５ | ２７ | 近鉄四日市駅　乗換 |  |
| １６ | ００頃 | 津駅帰着 | 帰着点検（大森）解散 |

１3.予　算

・食費等　　1500円

・交通費　　バス270円　電車720円

合　計　　2500円

別に、緊急時の予備費（事故、怪我など）として各自あと5000円持参する。（徴収しない。必要なければ家へ持ち帰る。）

１４．留意事項など

①根の平峠～コクイ谷出合い」間は道に迷いやすい。

（7月25日　大森と高橋真で下見を実施した。）

②マーク（赤テープ、赤スプレー）は、間隔の差はあるが、必ずある。

マークを見失った場合は、一旦わかる場所までもどり、落ち着いて周辺を

観察し、正しいルート、マークを探す。

③「タケ谷分岐」で道標看板とマークを見落とさない。

④コースを外れると、目的地の異なる別の登山道（杉峠へは行かない）の

マークを見つけてしまうことがあり、注意必要。

（「上水晶谷出合い」～「コクイ谷出合い」間で）

⑤2日目　川沿いに東へ進み続けると、「上水晶谷」に入り込んでしまう。

　「上水晶谷出合い」で「根の平　左折」の看板を見落とさない事。

　（川を渡るとき、看板の裏側へ上がると看板を見落としやすい。）

　「上水晶谷」に入り込んで国見岳へ直接向かうルートはわかりにくルート

であり、必ず「上水晶谷出合い」から「根の平峠」を回ること。

　⑥事故等が発生し携帯電話で連絡する場合は、山頂、稜線の上など電波の入りやすい場所か、朝明渓谷まで移動して℡する。

　⑦コンロ使用時は半径50センチ以上の草葉、枯葉は必ず取り除き、安定した置き方で倒れないよう留意、火災防止に気を付ける。

●緊急連絡先：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 本人携帯 | 自宅・保護者携帯 |
| （ベンチャースカウト） |  |  |
| 平野　信長 | 080‐3678‐7588 | 059‐202‐3903  090‐1566-9766 |
| 高橋　真 | 080-9493‐3102 | 090‐1750‐9817 |
|  |  |  |
| （担当団委員） |  |  |
| 大森　芳幸 | 090-3383－3588 | 059－223-7664 |
|  |  |  |
| （団関係者） |  |  |
| 梅川団委員長 | 090-8546－1791 | （059）221‐1871 |
| 岡部育成会長 | 090-3153－2795 | (059）223‐0706 |